

日本人の宇宙飛行の歩み	
1990年12月	TBS記者の秋山豊寛さんが日本人初の宇宙飛行
92年9月	毛利衛さんが米スペースシャトルに日本人初搭乗
94年7月	向井千秋さんが日本人女性初の飛行
97年11月	土井隆雄さんが日本人初の船外活動
2009年3～7月	若田光一さんが国際宇宙ステーションに日本人初の長期滞在
10年4月	野口聡一さんが長期滞在中に山崎直子さんが到着、日本人初の複数滞在
11年6月	古川聡さんが選定から12年後に47歳で初飛行
12年11月	星出彰彦さんが長期滞在中に船外活動の日本人最長記録を達成
15年7月	油井亀美也さんが初飛行
16年7月	大西卓哉さんが初飛行
17年12月	金井宣茂さんが初飛行
20年11月	野口さんが米新型宇宙船に搭乗予定

米国のアルテミス計画で、月面に着陸した宇宙飛行士のイメージ図（NASA提供）



いざ月へ宇宙飛行士求む

秋生田光一文部科学相は23日の閣議後記者会見で、来年秋ごろをめどに、日本人の宇宙飛行士を新たに募集することを明らかにした。米国主導の月探査計画へ2008年以来となる。

の協力で将来的に宇宙に向かうチャンスが生じ、日本人飛行士が不足することを避ける狙い。日本人飛行士の新規募集は2008年以来となる。

秋生田氏は会見で「今後一定規模の飛行士の数を維持するため、5年に1回程度の頻度で募集を行うことを想定している」と述べ、継続的に養成する考えを示した。

日本政府は昨年、米国の「アルテミス計画」への参加を表明。今年7月には月周回基地「ゲートウェイ」

日本人宇宙飛行士として最初に宇宙飛行したのは、1990年に旧ソ連時代のソユーズ宇宙船で飛行した立時TBS記者の秋山豊寛さん。次いで92年に毛利衛さんが米国のスペースシャトルに搭乗した。これまでに計12人が宇宙に行っている。現役の飛行士は若田光一さんら7人。近年の募集は約10年ごとで、98年募集では星出彰彦さんら3人が選ばれた。

の建設や月面探査への協力を盛り込んだ米国との共同宣言に署名しており、20年代後半に日本人初の月面着陸を目指している。宇宙航空研究開発機構（JAXA）の飛行士は現在7人。08年の募集では、09年2月に油井亀美也さん（50）と大西卓哉さん（44）の2人が決定し、同年9月には金井宣茂さん（43）が採用

JAXA 13年ぶり

された。いずれも既に宇宙飛行を果たしている。前回は過去最高となる男女計963人が応募。書類審査や面接など半年以上の長丁場の選考を経て選ばれ、倍率は300倍以上の狭き門となった。今後予定されている日本人飛行士の活動では、野口聡一さん（55）が11月にも宇宙へ出発。米国の新型宇宙船クルードラゴンに乗船し、国際宇宙ステーションに滞在する。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

なまえ
【

①日本人飛行士の新規募集は何年以來ですか。 年以來

②日本は米国の何計画への参加を表明しましたか。 計画

③これまでに宇宙に行った12人の日本人飛行士を書きましょう。

秋	さん	毛	さん	向	さん
土	さん	若	さん	野	さん
山	さん	古	さん	星	さん
油	さん	大	さん	金	さん

④前回の応募人数と倍率を答えましょう。 人、 倍以上

⑤感想を書きましょう。